



エスエイティーティー株式会社

インタラクシヨンメーカーPRO ユーザーズマニュアル

エスエイティーティー株式会社

2009/4/17

(サイト公開用は一部割愛させていただいております)

サイト公開用

- 概要
- 動作環境
- 画面遷移
- 問題画面の各機能
- 問題画面タイプ一覧
- 解説タイプ一覧
- その他の画面で使用される画像サイズ
- 問題作成用エクセルシート
- step1: 環境設定シートへの入力
 - 概要
 - シンプルモード
 - 詳細モード
- step2: カテゴリ設定シートへの入力
- step3: 問題設定シートへの入力
- step4: 設定ファイルの書き出し
- step5: 教材の確認、step6: コンテンツをLMSに登録
- ファイルの構成
- お問い合わせ

■ インタクションメーカーPROとは

- テスト型の教材を簡単に作成できるオーサリングツールです。問題の種類は択一、複数選択、入力、ドラッグ&ドロップの4形式で、問題ごとに画像を表示したり、BGMを再生したりすることができます。

■ 何ができるのか

- SCORM(スコーム)に対応したLMSに登録すれば、自動的にSCORM学習履歴を出力するテスト教材を作成することができます。

■ 使い方(作成者)

- 使い方は、出題情報を含んだ外部ファイルの内容をExcelで編集するだけです。これで、Flash Player7以降で動作するテスト型教材が制作できます。
- 詳しくは下記ページをお読みください。
 - 問題作成用エクセルシート
 - step1:環境設定シートへの入力
 - step2:カテゴリ設定シートへの入力
 - step3:問題設定シートへの入力
 - step4:設定ファイルの書き出し
 - step5:教材の確認、step6:コンテンツをLMSに登録

■ 使い方(受講者)

- 詳しくは、『画面遷移』をお読みください。

■ 受講者側PC環境：

■ 動作環境

- Microsoft Windows 2000, XP, Vista
- Microsoft Internet Explorer 5.5, 6, 7
- Adobe Flash Player 7以上

■ 問題作成者PC環境：

■ 制作環境

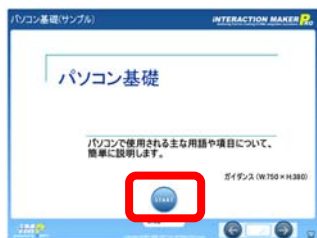
- Microsoft Excel(XP、2003、2007)が動作する環境
 - ・Excel 2007については、xls[互換モード]とxlsm[Excel2007]とも動作確認済みです。
 - ・セキュリティを「中」にして使います(※1)。

■ 配信サーバ(LMS)：

- SCORM1.2に対応したLMS(※2、3)
- SCORM2004に対応したLMS(※2、3)

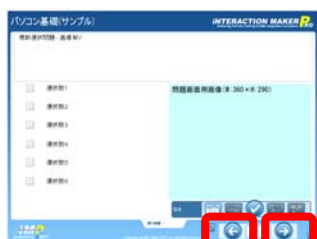
※1: Excelのセキュリティを「高」以上にしている場合には、最初にIMProマクロ.xlsを起動したときに、アラートがでますので、その指示に従って、セキュリティを「中」に変更する必要があります(詳しくはP9をご覧ください)。
※2: LMS(Learning Management System: ラーニングマネジメントシステム)とは、eラーニングの運用における学習管理システムのことを指します。学習者の履歴や教材の配信を制御します。
※3: 使用するLMSによっては、LMS固有の特徴がある場合がございます。正しく動作しない場合は、カスタマイズ(有料)にて対応可能です。

- インタクションメーカーPROは、下記のような画面遷移をします。



■ ガイダンス画面

ガイダンス画面では、中央の『スタートボタン』をクリックします。




■ 各種問題画面

各種問題、一覧、結果画面では、右下の『→』または、『←』をクリックします。



■ 一覧画面

問題番号をクリックすると該当の問題を表示します。
『判定 』ボタンを押すと採点を行います(※)。




■ 採点結果画面

『→』でエンディング画面に移動します。



■ エンディング画面

『教材終了』ボタンを押してコンテンツを終了します。

※「個別判定問題」を「有り」に設定した場合、各問題画面内にある「判定 」ボタンが有効になります。
※「判定結果表示」が「無し」の場合、判定ボタンを押すと強制的にエンディング画面に移行します。
それ以降、他の画面への移動はできません。(詳しくは、P10、11をご覧ください)

■ 問題画面には以下のような機能があります。



ブックマーク機能:

また戻りたい問題に印をつけることができます。

印をつけた問題ページは、一覧画面の該当問題にそれぞれ印がつきます。



補足画像表示機能:

「補足用画像」が設定(※)されている場合に利用できます。クリックすると指定された補足画像が表示されます。

画像サイズは、590x350まで。それより大きなサイズではスクロールバーが表示されます。



リンク先表示機能:

「リンクページ」が設定(※)されている場合に利用できません。

クリックするとブラウザの別ウィンドウが表示され、指定されているリンク先のページが表示されます。



■ 採点結果後の問題ページ:

解答した内容と「○」「×」が表示されます。



解説表示機能:

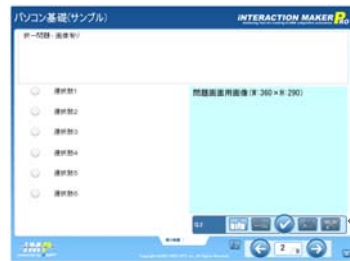
クリックすると、設定(※)されている該当問題の「解説」が表示されます。

※詳しくはP15を参照ください。

■ インタクションメーカーPROには、次の4形式9タイプの問題形式が用意されています。



■ 択一
最大選択肢数:6



■ 択一(画像有り)
最大選択肢数:6



■ 択一(2段)
最大選択肢数:各4



■ 複数選択
最大選択肢数:6

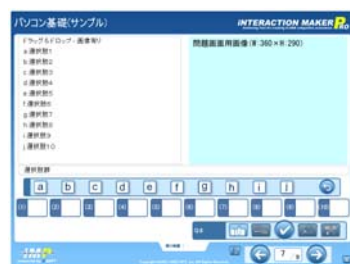


■ 複数選択(画像有り)
最大選択肢数:6

画像サイズは、360x290まで。
それより大きなサイズではスクロールバーが表示されます。



■ ドラッグ & ドロップ
最大解答欄数:10



■ ドラッグ & ドロップ(画像有り)
最大解答欄数:10

画像サイズは、360x290まで。
それより大きなサイズではスクロールバーが表示されます。



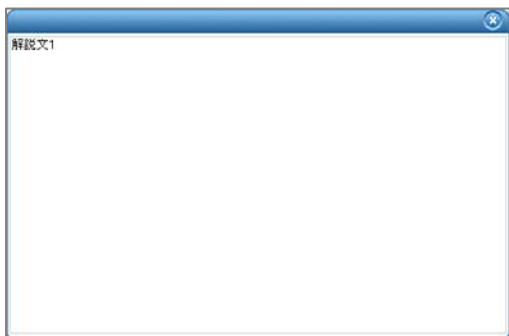
■ 入力
最大解答欄数:6



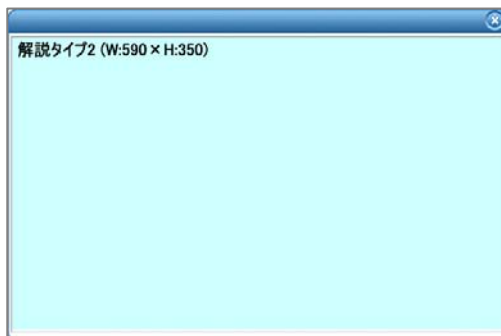
■ 入力(画像有り)
最大解答欄数:6

画像サイズは、360x290まで。
それより大きなサイズではスクロールバーが表示されます。

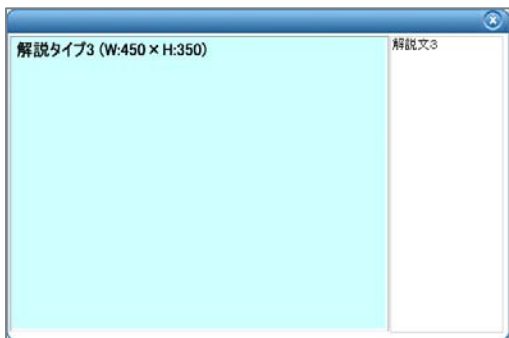
■ インタクションメーカーPROには、次の7種類の解説表示タイプが用意されています。



タイプ1:テキストのみ



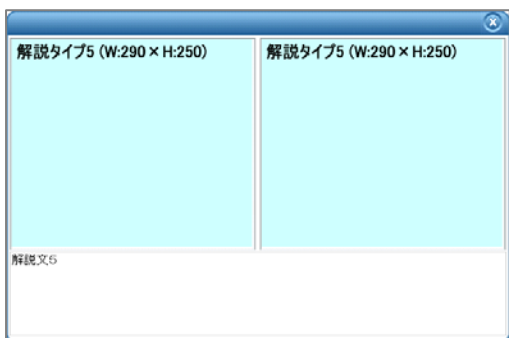
タイプ2:画像のみ



タイプ3:テキスト右、画像(大)左



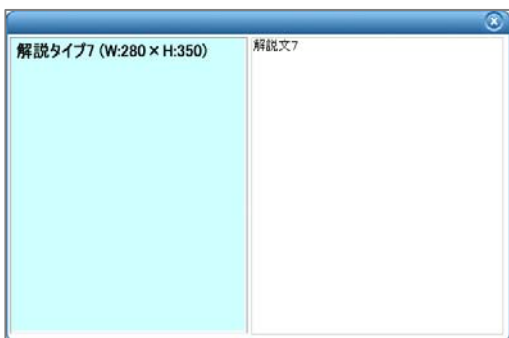
タイプ4:テキスト下、画像上



タイプ5:テキスト下、画像2枚上



タイプ6:テキスト左、画像右



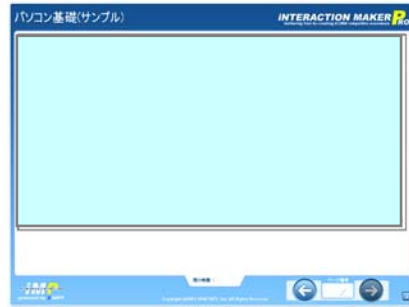
タイプ7:テキスト右、画像左

■ 各解説タイプに読み込まれる画像サイズ一覧:

- タイプ2 590x350
- タイプ3 450x350
- タイプ4 590x250
- タイプ5 290x250, 290x250
- タイプ6 280x350
- タイプ7 280x350



■ガイダンス画面
画像サイズ:750x380



■エンディング画面
画像サイズ:750x380



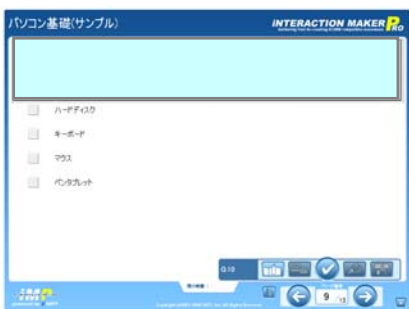
■問題画面(択一)
画像サイズ:750x120



■問題画面(択一2段)
画像サイズ:750x40が2個



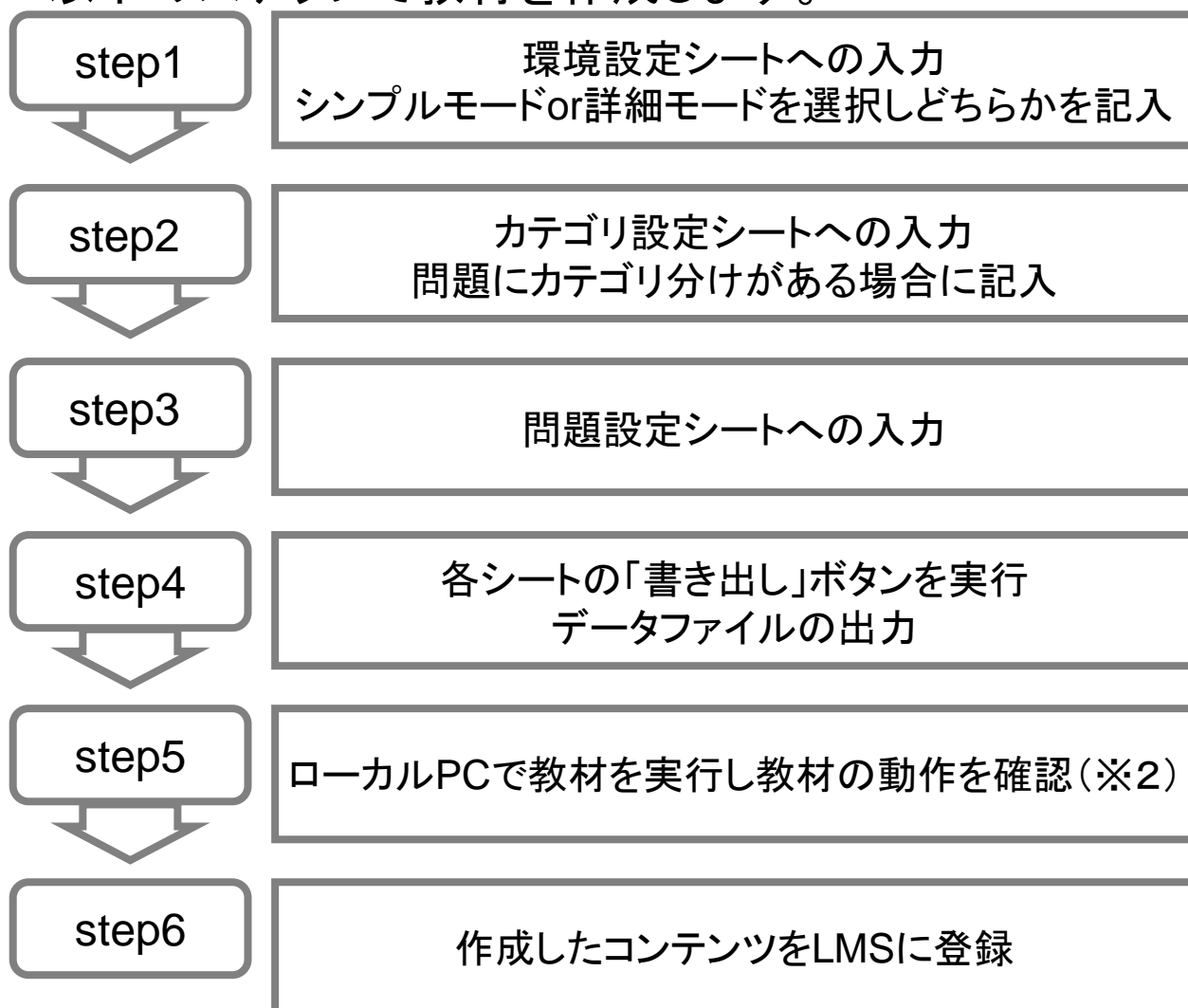
■問題画面(入力)
画像サイズ:750x120



■問題画面(複数選択)
画像サイズ:750x120

※問題画面に画像を設定する方法は、P14の「問題文(代替画像)」を参照してください。

- インタラクシオンメーカーPRO専用「問題作成用エクセルシート」には下記のシートが準備されています。
 - 環境設定（「シンプルモード」と「詳細モード」の2種類）
 - カテゴリ設定
 - 問題設定
- ・Excelのセキュリティ設定は「中」にして使用します。（※1）
- 以下のステップで教材を作成します。



※1: 問題作成用エクセルシートにある各「書き出し」ボタン(マクロ)を有効にするためです。セキュリティは、ツール>マクロ>セキュリティから、セキュリティダイアログを開いて、「セキュリティ レベル」タブで変更することができます。その変更を有効にするには、一度Excelを終了する必要があります。

※2: ローカルで実行するにはFlash Playerのセキュリティの変更が必要な場合があります。詳しくは下記をご参照ください。

http://www.macromedia.com/support/documentation/jp/flashplayer/help/settings_manager04.html#117502

- コンテンツに関する全体的な設定を行います。
 - シンプルモード、詳細モードのどちらかを選択して設定します。
 - ・2つのモードの違いは、次ページ下段枠内をご覧ください。

項目	値	備考
タイトル	パソコン基礎(サンプル)	
合格点	100	
出題ページ数	10	出題設定が「出題数指定並べかえ」の時に有効です。
出題設定	並べ替え	
制限時間設定	無し	全体の「制限時間設定」です。
制限時間(秒)	3600	全体の「制限時間」です。
個別判定ボタン	有り	
判定結果表示	有り	
合格時コメント	合格です。	
不合格時コメント	不合格です。	
ガイダンス文	オープニング画面	
ガイダンス画像		
エンディング文	エンディング画面	
エンディング画像		

<シンプルモード>
学習モードクイック設定をすれば、設定完了できます。

<学習モードクイック設定の説明>
自己学習モードは、判定結果表示、有りが基本です。
自己学習モードAは個別判定を行うモードです。
自己学習モードBは全体判定を行うモードです。
能力判定モードAは、判定結果表示を出さないモードです。
※この設定は初期設定ですので、すべて手動で変更可能です。

環境設定(シンプルモード)シート

項目	値	備考
タイトル	パソコン基礎(サンプル)	
合格点	100	
出題ページ数	10	出題設定が「出題数指定並べかえ」の時に有効です。
出題設定	並べ替え	
カテゴリ別判定	無し	全体の「制限時間設定」です。
制限時間設定	無し	全体の「制限時間」です。
制限時間(秒)	3600	全体の「制限時間」です。
履歴送信	有り	
個別判定ボタン	有り	
判定結果表示	有り	
得点表示	有り	
リーダーチャート表示	有り	
コメント表示	有り	
合格時コメント	合格です。	
不合格時コメント	不合格です。	
ガイダンス文	オープニング画面	
ガイダンス画像		
エンディング表示	有り	
エンディング文	エンディング画面	
エンディング画像		

<詳細モード>
学習モードクイック設定の設定をさらに詳細に設定ができます。

<学習モードクイック設定の説明>
自己学習モードは、判定結果表示、有りが基本です。
自己学習モードAは個別判定を行うモードです。
自己学習モードBは全体判定を行うモードです。
能力判定モードAは、判定結果表示を出さないモードです。
※この設定は初期設定ですので、すべて手動で変更可能です。

環境設定(詳細モード)シート

学習モードの設定

- 環境設定を簡単に行うために3つの学習モードを準備しています。
- 各学習モードの中から近い設定のものを選んでから、各設定を調整することですばやく環境設定を行うことができます。

モードの説明	利用用途	特徴
自己学習モードA	自学自習確認テスト向け	一問毎に判定可能
		解説表示有り
自己学習モードB	自学自習確認テスト向け	全問まとめて判定
		解説表示有り
能力判定モードA	能力判定テスト向け	全問まとめて判定
		解説表示無し
		判定結果表示無し
		制限時間有り(デフォルトは全体)
		判定後、自動的にエンディング画面へ移動。 ※エンディングから、各問題や一覧画面に戻ることはできません。

■ コンテンツに関する全体的な設定をシンプルに設定します。

項目	値	備考
タイトル	パソコン基礎(サンプル)	
合格点	100	
出題ページ数	10	出題設定が「出題数指定並べ替え」の時に有効です。
出題設定	並べ替え	
制限時間設定	無し	全体の「制限時間設定」です。
制限時間(秒)	3600	全体の「制限時間」です。
個別判定ボタン	有り	
判定結果表示	有り	
合格時コメント	合格です。	
不合格時コメント	不合格です。	
ガイダンス文	オープニング画面	
エンディング文	エンディング画面	
エンディング画像		

<シンプルモード>
学習モードクイック設定をすれば、設定完了できます。

<学習モードクイック設定の説明>
自己学習モードは、判定結果表示、有りが基本です。
自己学習モードAは、個別判定を行うモードです。
自己学習モードBは、全体判定を行うモードです。
能力判定モードAは、判定結果表示を出さないモードです。
※この設定は初期設定ですので、すべて手動で変更可能です。

環境設定(シンプルモード)シート

各セルに設定されるカラーの説明

色	説明
白	必要に応じて設定する項目です。
青	記入が必要な項目です。
黒	記入の必要のない項目です。 記入されていた場合、設定値は無効になります。
赤	(他の設定項目との)組み合わせが無効です。

セルの名称	説明
タイトル	コンテンツのタイトルを入力してください。
合格点	コンテンツの合格点を入力してください。 ※初期設定値は「1」です。 ※カテゴリ分けをしている場合、『カテゴリ設定』シートの合格点と両方判定されます。
出題ページ数	出題ページ数を指定する場合の数値を入力してください。 出題設定で、『出題数指定並べ替え』を設定した場合のみ、利用されます。
出題設定	『---通り』、『並べ替え』、『カテゴリ順』、『出題数指定並べ替え』、『カテゴリ内出題数指定並べ替え(カテゴリ順)』、『カテゴリ内出題数指定並べ替え(ランダム)』の、上記6種類より選択してください。(リスト表示されます。)
制限時間設定	『無し』、『全体』、『個別』を選択してください。(リスト表示されます。)
制限時間(秒)	制限時間設定で、『全体』を選択した際に、使用される制限時間を入力してください。 単位は「秒」ですので、1分 = 60秒、1時間 = 3600秒、となります。
個別判定ボタン	問題ごとの判定ボタンの有無を選択してください。
判定結果表示	結果画面表示の有無を選択してください。
合格時コメント	合格時のコメントを入力してください。3行以上はスクロール表示されます。
不合格時コメント	不合格時のコメントを入力してください。3行以上はスクロール表示されます。
ガイダンス文	開始画面で表示される文面を入力します。全角文字1行約58文字で、16行まで表示可能です。
ガイダンス画像	開始画面で表示される画像のパスを入力してください。 (上記の『ガイダンス文』が入力されている場合は、そちらが優先されます。)
エンディング文	エンディング画面で表示される文面を入力します。全角文字1行約58文字で、16行まで表示可能です。
エンディング画像	エンディング画面で表示される画像のパスを入力してください。 (上記の『エンディング文』が入力されている場合は、そちらが優先されます。)

「履歴送信」、「エンディングの表示」、「判定結果画面表示の際の得点」、「レーダーチャート」、「コメントの表示」は、全て『有り』で設定されています。「カテゴリ別判定」は『無し』に設定されています。
(上記、設定を変更する場合は「環境設定シート(詳細モード)」を利用します。)

step1: 環境設定シートへの入力 (詳細モード)

■ コンテンツに関する全体的な設定を詳細に設定します。

A	B	C	D
1	環境設定	自己学習モードA	環境設定ファイルの書き出し
2			
3			
4	項目	値	備考
5	タイトル	パソコン基礎(サンプル)	
6	合格点	100	
7	出題ページ数	10	出題設定が「出題数指定並べ替え」の時に有効です。
8	出題設定	並べ替え	
9	カテゴリ別判定	無し	
10	制限時間設定	無し	全体の「制限時間設定」です。
11	制限時間(秒)	3600	全体の「制限時間」です。
12	履歴送信	有り	
13	個別判定ボタン	有り	
14	判定結果表示	有り	
15	得点表示	有り	
16	レーダーチャート表示	有り	
17	コメント表示	有り	
18	合格時コメント	合格です。	
19	不合格時コメント	不合格です。	
20	ガイダンス文	オープニング画面	
21	ガイダンス画像		
22	エンディング表示	有り	
23	エンディング文	エンディング画面	
24	エンディング画像		
25			
26	<詳細モード>		
27	学習モードクイック設定の設定をさらに詳細に設定できます。		
28			
29	<学習モードクイック設定の説明>		
30	自己学習モードは、判定結果表示、有りが基本です。		
31	自己学習モードAは個別判定を行うモードです。		
32	自己学習モードBは全体判定を行うモードです。		
33	能力判定モードAは、判定結果表示をしないモードです。		
34	*この設定は初期設定ですので、すべてで変更可能です。		

各セルに設定されるカラーの説明

色	説明
	必要に応じて設定する項目です。
	記入が必要な項目です。
	記入の必要のない項目です。 記入されていた場合、設定値は無効になります。
	(他の設定項目との)組み合わせが無効です。

環境設定(詳細モード)シート

「詳細モード」のみにあるセルです。

セルの名称	説明
タイトル	コンテンツのタイトルを入力してください。
合格点	コンテンツの合格点を入力してください。 ※カテゴリ分けをしている場合、『カテゴリ設定』シートの合格点と両方判定されます。
出題ページ数	出題ページ数を指定する場合の数値を入力してください。 出題設定で、『出題数指定並べ替え』を設定した場合のみ、利用されます。
出題設定	『--- 通り』、『並べ替え』、『カテゴリ順』、『出題数指定並べ替え』、『カテゴリ内出題数指定並べ替え(カテゴリ順)』、『カテゴリ内出題数指定並べ替え(ランダム)』の、上記6種類より選択してください。(リスト表示されます。)
カテゴリ別判定	合否判定に、カテゴリの個別の条件を付加します。 結果画面においてレーダーチャートを表示した場合は、カテゴリ合格点を示す青のラインが表示されます。 「出題数指定並べ替え」の出題形式を設定している場合には、この「カテゴリ別判定」は選択(有り)できません。
制限時間設定	『無し』、『全体』、『個別』を選択してください。(リスト表示されます。)
制限時間(秒)	制限時間を入力します。単位は秒です。制限時間設定で、『全体』を選択した際に有効となります。 ※制限時間設定で『個別』を選択した場合は、「問題設定シート」の「制限時間」で設定します。
履歴送信	履歴送信の有無を選択してください。
個別判定ボタン	問題ごとの判定ボタンの有無を選択してください。
判定結果表示	結果画面表示の有無を選択してください。
得点表示	結果画面での、得点表示の有無を選択してください。素点、パーセントの両方で表示します。
レーダーチャート表示	結果画面での、レーダーチャート表示の有無を選択してください。カテゴリが3つ以上設定してある場合に表示されます。(最大10まで)
コメント表示	結果画面での、合否にあわせたコメント表示の有無を選択してください。
合格時コメント	合格時のコメントを入力してください。3行以上はスクロール表示されます。
不合格時コメント	不合格時のコメントを入力してください。3行以上はスクロール表示されます。
ガイダンス文	開始画面で表示される文面を入力します。全角文字1行約58文字、16行まで表示可能です。
ガイダンス画像	開始画面で表示される画像のパスを入力してください。 (上記の『ガイダンス文』が入力されている場合は、そちらが優先されます。)
エンディング表示	エンディング画面表示の有無を選択します。
エンディング文	エンディング画面で表示される文面を入力します。全角文字1行約58文字、16行まで表示可能です。 (上記の『エンディング表示』で『無し』を設定している場合には、無効となります。)
エンディング画像	エンディング画面で表示される画像のパスを入力してください。(上記の『エンディング文』が入力されている場合は、そちらが優先されます。また上記の『エンディング表示』で『無し』を設定している場合には、無効となります。)

- インタクションメーカーPROは、出題する問題をカテゴリ単位で管理できます。
 - 各カテゴリ単位での理解度チェックが可能です。
- レーダーチャートの表示
 - 「カテゴリ設定」シートで下記の項目を設定すると、採点結果画面でレーダーチャートを表示することが可能です。
 - カテゴリ名
 - カテゴリごとの出題ページ数
 - カテゴリごとの合格点

・カテゴリを設定する場合、カテゴリ数は3以上に設定する必要があります。

	A	B	C	D	E
1					
2		カテゴリ設定		カテゴリ設定ファイルの書き出し	
3					
4		カテゴリ番号	カテゴリ名	出題ページ数	合格点
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

カテゴリ設定シート

各セルに設定されるカラーの説明

色	説明
	必要に応じて設定する項目です。
	記入が必要な項目です。
	記入の必要のない項目です。 記入されていた場合、設定値は無効になります。
	(他の設定項目との)組み合わせが無効です。

セルの名称	説明
カテゴリ番号	自動で設定されます。(1~10まで)
カテゴリ名	レーダーチャートで表示されるカテゴリの名称を入力します。1行に10文字程度が標準です。それ以上は2行にすることをお勧めします。
出題ページ数	『環境設定』内、出題設定で『カテゴリ内出題数指定並べ替え(カテゴリ順)』、 『カテゴリ内出題数指定並べ替え(ランダム)』を設定した際に、該当カテゴリ内からの出題ページ数を入力します。
合格点	『環境設定』内、『カテゴリ別判定』で『有り』設定された際に利用される、該当カテゴリの合格点を入力します。 ※「問題設定シート」で設定する点数を基準とします。

※カテゴリ設定シートには、最低1以上のカテゴリを設定し、必ず「カテゴリ設定ファイル -----」を出力する必要があります。
※各カテゴリの「出題ページ数」は、「問題設定シート」で設定する、各カテゴリの問題数より大きく設定しないでください。

■ インタクションメーカーPROは、出題する問題の作成・管理・編集を「問題設定」シートで行います

問題番号	問題タイプ	ID	問題カテゴリ	制限時間	問題文
1	択一	q1	1	200	コンピュータは何進数で計算して
2	択一(画像有り)	q2	1	100	2進数の1桁のことを何とよみますか?
3	択一	q3	1	100	8桁の2進数を何とよみますか?...
4	択一(2段)	q4-1	2	100	1キロバイトは何バイトですか?...
5	択一(2段)下	q4-2	2	100	1バイトは何ビットですか?...
6	択一	q5	2	100	1バイトは何ビットですか?...
7	択一	q6	2	100	1Mバイトは何バイトですが? (CPU(中央処理装置)、記憶装置)
8	D&D(画像有り)	q7	3	100	次の文章の①、②、③にあてはまるものをドラッグしてください。 次の文章の①、②、③にあてはまるものをドラッグしてください。
9	D&D	q8	3	100	コンピュータを構成するもので、構成されるものを①、主記憶装置されるものを②といふ。また、キー
10	複数選択	q9	3	100	入力装置に含まれるものはどれか?
11	複数選択(画像有り)	q10	3	100	出力装置に含まれるものはどれか?

問題設定シート

各セルに設定されるカラーの説明

色	説明
白	必要に応じて設定する項目です。
水色	記入が必要な項目です。
灰色	記入の必要のない項目です。 記入されていた場合、設定値は無効になります。
赤	(他の設定項目との)組み合わせが無効です。

セルの名称	説明
問題番号	自動的に設定されます。
問題タイプ	『択一』、『択一(画像有り)』、『択一(2段)』、『複数選択』、『複数選択(画像有り)』、『ドラッグ&ドロップ』、『ドラッグ&ドロップ(画像有り)』、『入力』、『入力(画像有り)』 上記の9種類より選択してください。(『択一(2段)』を選択されると、自動的に次の問題は、『択一(2段)下』となります。)
ID	履歴を送信する際のインタクションIDを入力してください。
問題カテゴリ	どのカテゴリに該当するか、カテゴリ番号を入力してください。
制限時間	『環境設定』内、制限時間設定で『個別』を設定された際に使用される、問題ごとの制限時間を入力してください。0~300が入力可です。(秒単位)
問題文	問題文を入力してください。6行目からはスクロールされます。
問題文(代替画像)	問題文の代わりに使用される『フラッシュファイル(.swf形式)』、または『画像ファイル(.jpg形式)』のパスを入力します(※1)。上記、「問題文」のセルに記載がある場合、表示されません。
サウンド	問題が表示された際に再生される『音声ファイル』のパスを入力してください(mp3形式のみ対応しています)(※2)。
選択肢コメント	問題タイプで『ドラッグ&ドロップ』、『ドラッグ&ドロップ(画像有り)』を設定された際に、ドラッグオブジェクトの上部に表示される文言を入力してください。
選択肢1~6	選択肢の文言を入力してください。文字数は、約56文字×2行(画像付きは約24文字×2行)。それ以上はスクロールされます。
選択肢7~10	選択肢の文言を入力してください。(『ドラッグ&ドロップ』、『ドラッグ&ドロップ(画像有り)』のみ有効)
配点	得点を入力してください。 (『ドラッグ&ドロップ』、『ドラッグ&ドロップ(画像有り)』、『入力』、『入力(画像有り)』を設定されている場合は、『(カンマ)』で区切って入力します。入力回答数分、設定する必要があります。)

※1: 「picture1.jpg」という画像ファイルをimageというフォルダに入れる場合は「image*picture1.jpg」というパスになります。

※2: 「s1.mp3」という音声ファイルをsoundというフォルダに入れる場合は「sound*s1.mp3」というパスになります。

step3: 問題設定シートへの入力 (その2)

セルの名称	説明
正解	<p>正解値を入力してください。 (『択一』、『択一(画像有り)』、『択一(2段)』の場合は、選択肢の番号を入力してください。) (『複数選択』、『複数選択(画像有り)』の場合は、選択肢の番号を『(カンマ)』で区切って入力してください。) (『ドラッグ & ドロップ』、『ドラッグ & ドロップ(画像有り)』の場合は、1から順にアルファベット小文字に置き換えて入力してください。『a』～『j』となります。) (『入力』、『入力(画像有り)』の場合は、解答欄ごとを『(カンマ)』で区切り、一つの解答欄で、複数の入力パターン(『1000』、『1,000』など)が有る場合には、『/(スラッシュ)』で区切ってください。また入力の際、「1,000」と表示させる場合は「1¥,000」と記入してください。同様に「1/2」は「1¥/2」と記入してください。)</p> <p>※具体例は、IMProマクロ(付属サンプル).xlsの「問題設定」シートをご覧ください。</p>
リンク	リンクページのURLを入力してください。
問題文用画像	『択一(画像有り)』、『複数選択(画像有り)』、『ドラッグ & ドロップ(画像有り)』、『入力(画像有り)』を設定された際に、表示される画像ファイルのパスを入力してください。 (サイズは、360 × 290です。)
補足用画像	ポップアップウィンドウで表示される画像ファイルのパスを入力してください。 (サイズは、590 × 350です。)
解説タイプ	『テキストのみ』、『画像のみ』、『テキスト右、画像(大)左』、『テキスト下、画像上』、『テキスト下、画像2枚上』、『テキスト左、画像右』、『テキスト右、画像左』 上記の7種類より選択してください。
解説文	解説文を入力してください。16行まで表示します。17行以上はスクロールします。 「テキスト下」の場合は、4行まで表示し、5行以上はスクロールします。
解説文画像1	解説で表示される画像ファイルのパスを入力してください。
解説文画像2	『テキスト下、画像2枚上』を設定された際に右側に表示される画像ファイルのパスを入力してください。

※解説文、解説文画像1、解説文画像2について、各指定セルに対して記載をしなかった場合でもエラーとなりませんので、ご注意ください。

※『ドラッグ & ドロップ』、『ドラッグ & ドロップ(画像有り)』を選択した場合、各選択肢は問題文の下に、下記のように自動的に追記されます。

- a. 選択肢1
- b. 選択肢2
- c. 選択肢3

※外部読み込み画像としてFlashPaperはサポート対象外です。ご注意ください。

- それぞれのシートの内容を入力したら、各シートに配置されているファイル書き出し用のボタンをクリックし(※)、インタラクシオンメーカーPROが読み込める、----- 設定ファイルを出力します。
 - ボタンを押すと保存先を尋ねるダイアログが表示されますので、PCの任意のディレクトリに保存します。

(公開用マニュアル非表示項目です)

※Excelのセキュリティ設定が「中」でないとボタンは有効ではありません。詳しくは、P9をご覧ください
各シートの書き出し用ボタンが見つからない場合は、D列かE列を探して表示してください。

- LMSに登録する前に、「imPro.html」を起動して、ローカル上で問題内容に間違いがないか、想定した通りの動きをしているかを確認します。
- ファイル・フォルダ構成

実行するにはFlash Playerのセキュリティを変更する必要があります(※)。

(公開用マニュアル非表示項目です)

■ インタラクシヨンメーカーPROのファイル構成

(公開用マニュアル非表示項目です)

■ インタラクシオンメーカーPROのお問い合わせ先

■ eメール:

isa@satt.jp